

令和6年度 第2回大津町立図書館協議会 会議録

開催日時	令和6年2月26日(水) 午後3時～午後5時00分	
開催場所	おおづ図書館 集会室	
	出席委員	江口竜一(会長) 吉田ひとみ(副会長) 坂本俊明 河北恵理 大野一郎 宮野 薫 古庄裕樹 松岡征一郎 桑原正浩
	欠席委員	守田 丈晴
	職務出席者 及び説明者	吉良智恵美 教育長 羽熊 幸治 教育部長 佐藤 純一 教育部 生涯学習課長 矢野 好一 教育部 生涯学習課 課長補佐 図書館 館長 古澤 理恵 教育部 生涯学習課 図書館 副館長 前方 優奈 教育部 生涯学習課 図書館 主事
開催形態		傍聴者 無し
議題	1 開会 2 教育長あいさつ 3 会長あいさつ 4 議 題 (1)【報告】令和6年度 おおづ図書館利用に関するアンケートの結果報告 (2)【報告】令和6年度の利用状況及び事業経過について (3)【協議】令和7年度の運営方針(案)について (4)【協議】第四次大津町子ども読書活動推進計画(令和4年度～令和8年度)の進捗状況 5 その他 6 閉会	

館長	1 開 会
教育長	2 教育長あいさつ
江口会長	3 会長あいさつ
江口会長	4 議 題 (1)【報告】令和6年度の図書館利用に関するアンケート結果報告
説明者	資料をもとにアンケート結果を報告する。
委員	2月11日は非常に学生が多かった。学生が場所を探していたが、席がなかった。利用してくれるのは図書館としてありがたいことだけれども、菊陽と比べるとここは全体的にスペースが狭い。しかし、その後、職員が他の部屋も開放し、そこで子どもたちは静かに勉強をすることができていた。机の配置が昨年とは違い、いい取り組みだと感じた。
事務局	2月11日は、とても学生が多かった日で、集会室、小集会室も開放し、それでも席が足りず、伝承館もどうぞと声をかけました。 図書館を勉強環境として使っていただけるのはありがたいです。逆に他の施設も使えるのではないかと考えています。駅周辺の活性化計画があるのですが、子どもの居場所づくりを駅周辺でする必要があると思います。子どもたちは安心できる居場所を探し求めているのではと思うので、図書館はこれまでのように、これまで以上に居心地の良い場所を作っていければと思います。
委員	オックスも使えるが、特別に職員がいるわけではない。それに比べると図書館は司書もおり、安心感があるから、利用者が来るのではないかと。
事務局	ロビーに机も置いて、ロビー環境として使えるようにしております。展示も以前はロビー全面を使用していた時期もあったようですが、展示希望者のご協力をいただき、今は半面を展示スペースにして、ロビーを居場所づくりとして確保しています。
委員	アンケートを見て、利用者について、全世代に図書館に興味を持ってもらったほうが良いのか、学生や60代以上など年齢層をしぼるか、その部分は図書館として考える必要があるのではないだろうか。 また、「一般書」とはどのような本を指すのか。

事務局	一般書とは、おとな向けの本全般を指します。
委員	小説、実用書などニーズを細分化したほうがいいのではないか。
委員	Wi-Fi の利用の仕方について知りたい。
事務局	1 回 15 分を 4 回まで継続可能です。
委員	パスワードはその都度変わるのか。
事務局	パスワードではなくメールアドレスを入れることになります。それで 4 回まで利用可能です。 令和 7 年度から、利用者の要望も多いため Wi-Fi を改善させていただきます。4 回までではなく、無制限で利用できるようにします。
委員	要望が多い Wi-Fi の利用サービスの件だが、駐車場でスマホを長時間使う人がでてくるのではないか。そこは何か対処をするのか。
事務局	開館時間だけ使えるようにして、閉館時間は切れるようにします。アクセスポイントも館内、ロビー、また学習で使用する集会室にも設置します。
委員	Wi-Fi の利用に料金はいるのか。
事務局	利用料は不要です。
	(2)【報告】令和6年度の利用状況及び事業経過について
説明者	令和 7 年度 1 月末時点での状況を報告。資料をもとに、現状、児童書等の貸出しは減っているが利用者は増えていること、電子図書館の利用状況などについて説明する。
委員	電子図書館の使い方は、どこかに載っているのか。また、おおづ図書館のLINEに電子図書館を入れてもらえるととても使いやすくなると思う。
事務局	ホームページやカウンターのパンフレットに載っています。また、利用者カードを新規に作られる人には説明をしています。LINEにバナーを入れることができるかについては確認をしてみます。

委員	SNS の時代になり、根拠のない情報も流れるので、より紙の本の価値を感じ、公共図書館の存在意義が強くなってきたと感じる。
委員	子どもの読書数が減っているというが、学校によっては貸出日数が1週間から2週間にのびたところがあったり、朝読書の時間が無くなってきていることも原因だと考えられる。中学校ではここ2、3年、一人当たり平均の読書数は増えてきている。所属校で独自にとった学校アンケートでも本を読むのが好きという人は、約5割だった。中学生は忙しく、学校の朝読書の時間でしか本を読んでいるいない子も多いため、学校の読書時間を作っていかなければと考えている。また、最近では本の情報を SNS から収集している子も多いという結果が出た。図書館っていいなと思ってもらえる子どもが増えると、将来おとなになっても図書館などで本を読むようになるのではないかな。
委員	本をたくさん読む子どもと1冊も読まない子どもの二極化が進んでいる。そこが課題だと思う。司書の先生にデータを毎月出してもらっているが、1月は本校では毎月どの学年も10冊前後の本を読んでいる。また、本に親しむため、地域の方に読み聞かせをしていただいたり、授業の一環で、毎週金曜日に本の貸出を行い、土日で読むという取り組みをしている。また電子図書館は、非常に便利で即時性があるが、子どもにとっては絵本のような色彩がはっきりとしていて、自分の手になじむようなものに親しまないと将来的に本に結びつかないのではないかな。子どもたちは電子図書館を読むとき、絵だけを見たり、一部だけを読んだりして、じっくり味わうところまでいけないと感じる。
	(3)【協議】令和7年度の運営方針(案)について
説明者	資料をもとに、令和7年度の運営方針案について説明をする。 「(5)学校図書館との連携、子どもの読書活動の減衰が顕著となっている」の文言について、重点的に話す。
委員	台湾の絵本は日本人には読めるのか。
事務局	グーグルレンズの翻訳機能を活用して読むことできるので紹介していきたいと考えています。今後、館内貸出用のタブレットを用意し、それを利用して読んでいただきたいと思います。 台湾の方との交流としては、台湾文化などに触れることができるようなおはなし会などを計画していきたいと考えています。

委員	資料に「台湾からの寄贈の絵本を始めとした外国語図書の充実、活用を行います」と書いてあるが、台湾の人への情報発信はどうしているか。 また、情報技術分野は更新のスピードが早い。本の分野によって除籍のスピードを変えることが必要ではないか。
事務局	ホームページは英語と中国語に翻訳をすることができます。外国の方へは、国際交流協会などをおし図書館の利用を伝えていき、情報を広げていきたいと考えています。 資料別の除籍基準も改めて作りました。情報更新が早い分野は、除籍年数を3年、5年などで見直すこととしています。今まで資料別の除籍の基準が不明確だったため、除籍が進んでいませんでした。図書館の資料が全部で20万点以上あるので、図書館に見合った適正な資料数にするため、今回基準を見直しました。
委員	おおづ図書館には江戸時代の学術本など、古くても貴重な本もある。今は買えない本もあると思う。除籍せず大事にしてほしい。
事務局	貴重な資料を保存することは、図書館の大事な務めだと認識しています。そこはきちんと対応します。
委員	「子どもの読書活動の減衰は顕著となっている」とあるが、学校図書館からすると、顕著とまではいかないと思う。「傾向にある」などの表現ではどうか。
事務局	ご意見をもとに再考します。
説明者	(4)【協議】第四次大津町子ども読書活動推進計画(令和4年度～令和8年度)の進捗状況 資料をもとに説明する。子どもの読書数の推移の減っている資料と増えている資料の両極のグラフを示し、意見を求める。
委員	家庭での読み聞かせ減少に関しては、働いている人が増え忙しくなっていることが原因ではないか。
委員	ICT が教育において普及し、本を手に取り読む時間を今後作るのが難しくなると感じる。そうになると、子どもたちは、音声で本を聞くことに移行していくのではないか。音声で本を聞くというのも新しい読書の形なのではないかと感じ

	<p>る。このような読書の仕方もある。読書としてカウントして良いのではないか。集中して本を「読む」から、何かをしながら音声で聞くなどの「ながら」の時代になっていくのではないか。</p>
委員	<p>家庭読書の推進のきっかけとして、乳幼児と親が肌でふれあい、声を聞いて安心をするという意味もあったのではないかと思う。小さい頃の読み聞かせ、読書に重点をおいて活動をしてはどうか。子どものころから本に触れ、本が好きなら、おとなになっても図書館に自然と足を運ぶようになると思う。子育て世代の保護者は、子どもと一緒に本に触れやすい時期なので、子育て支援課と連携して、保護者にも本の楽しさを感じてもらい、またそのような環境づくりを行うなどが必要だと考える。学校とも連携して、読書活動を広げてほしい。</p>
委員	<p>忙しい生活の中で読書に時間を割くことが難しくなっている。本を読む行為が、ぜい沢な時間になりつつある。読書という行為の格が上がってきているのではないか。だから、図書館にカフェが併設されたり、おしゃれな空間になってきたりして特別な時間になってきているように思う。</p>
委員	<p>今のおおづ図書館は、イベントが多いし、敷居が低くなり、利用しやすくなったという声を周りから聞く。</p>
事務局	<p>多様なニーズをつかむということが大事ではないか。図書館のアンケートでは、色んなものにとらえきれてないのではないか。例えば、イベント時の来館者数、月ごとの来館者数の推移は分かるのか。</p>
事務局	<p>建物の構造上、来館者数としての把握ができません。</p>
委員	<p>ホームページのアクセス数や、電子図書館と本の貸し出し冊数の動向などを記録をとると、分かりやすいのではないか。 親子で図書館に行けるようなイベントを行うことが大事ではないか。親子で来ていただければ本を借りてもらうことができるのでは。</p>
事務局	<p>幼児期から本に触れあう環境が入り口ということで、赤ちゃんお話を開催していますが、会で読んだ本を借りていく人はあまりいないのが現状です。本を借りてもらうためのこちら側の誘導は必要と思っています。</p> <p>5 その他 本年末をもって、本協議会委員の任期は満了となります。引き続きご支援を</p>

お願いいたします。

6 閉会
(閉会時間:午後5時00分)